

Weekly コラム

令和 8 年 3 月 4 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

【時事解説】次世代小売りのレジを支える RFID 技術とは

最近、小売業界ではセルフレジの導入が広がっています。店にとってはレジ打ちの人件費削減に繋がりメリットがもたらされています。ただ、課題は多く、なかでも清算時の操作ミスや万引き(商品のいくつかをバーコードの読み込みをせずに清算してしまう)が店にとって悩みの種となっています。海外では清算時の万引きが多いのでセルフレジを廃止する店も出てきています。日本では、万引きとまでは行かなくても、顧客がバーコードで商品を読み取る操作が不慣れなために悪意なく、うっかり精算ミスをしてしまうケースが生じており、対応に苦勞する店が少なくありません。

こうしたセルフレジの課題を解決する技術として、今、無線自動識別(RFID)に注目が集まっています。すでにユニクロや GU などで導入がなされています。ユニクロの RFID レジでは、所定の場所に商品やカゴを置くと、レジ自身が自動で RFID タグを検出します。即座に金額が表示され、その場ですぐに会計ができるというものです。バーコードを読み込む作業が不要なのでうっかり清算ミスが防げます。

RFID とは、電波(無線)を使ってモノに貼られた IC タグ(RF タグ)の情報を読み取る技術を指します。バーコードと違い、非接触で読み書きする自動認識技術です。タグは IC チップとアンテナで構成されており、このタグを商品に埋め込んだり、貼り付けたりします。バーコードとの大きな違いは、複数タグの一括読み取りが可能な点にあります。読み取りの機械はタグに書き込まれた商品の価格などの情報を一瞬で読み取ります。結果、バーコードのように商品一つひとつに読み取り器機を当てなくても即座に会計できるわけです。

ただ、導入や運用のコストがバーコードに比べると高く、商品点数の多いスーパーなどでは導入が困難になっています。その中、出版や

医療医薬業界における物流管理などで用いられるようになり、少しずつ実用化が進んでいます。

最近、小売業界ではセルフレジの導入が広がっていますが、清算時の操作ミスや万引き(商品のいくつかをバーコードの読み込みをせずに清算してしまう)が店にとって悩みの種となっています。セルフレジの課題を解決する技術として、ユニクロや GU などで導入している、無線自動識別(RFID)に注目が集まっています。バーコードを読み込む作業が不要なので清算時の操作ミスや万引きが防げます。

ただ、RFID は導入や運用のコストがバーコードに比べると高く導入が難しい店もあります。その中、米国の小売業界で RFID の実用事例が増えています。ファストファッションのザラ、H&M の旗艦店など、アパレル業界をはじめ、ウォルマートなど、導入を進める企業が増えています。

日本では、医療医薬業界で物流管理を効率化するためのサービスが開始されました。RFID はレジ・清算の効率化だけでなく、在庫管理などでも効率化に貢献します。在庫管理や発注漏れ、使用期限の管理など、正確性をもとめられる医療医薬分野で、一括読み取りができる RFID は、正確性と効率化の両方を実現するソリューションとして期待されています。

ほか、出版業界でも RFID 技術の活用が期待されています。出版社の中には、商社と協業し、書店の在庫を RFID タグで管理できるサービスを始めたところもあります。製本工場において、出版物にシールやしおり型の RFID タグを取り付けることで管理します。結果、書店は専用のリーダーを棚にかざすだけで店内の在庫を把握でき、棚卸し作業の時間は従来よりも大幅に短縮できるというものです。

また、メーカーの工場などでは、従業員カードに RFID タグを取り付けることで、災害時、従業員の安否確認ができる取り組みを始めたところもあります。今後、小売業だけにとどまらず、様々な分野で RFID の活用が期待されています。

記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX 不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。